

製品名: RAB13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16773**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB13 GIG4
別名	
遺伝子 ID	5872.0
SwissProt ID	P51153
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 40-120

背景

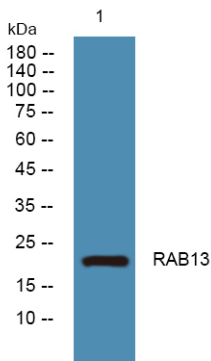
この遺伝子は、低分子 G タンパク質の Rab ファミリーに属し、トランスゴルジ体 (TGN) とリサイクリングエンドソーム (RE) 間の膜輸送を制御する役割を果たします。コードされているタンパク質は、上皮細胞の頂端結合複合体 (AJC) の構成要素であるタイト

ジャンクションの構築に関与しています。AJCは、管腔内容物と下層組織との間のバリア形成に役割を果たします。このタンパク質に関連するその他の機能には、オクルディンのエンドサイトーシスによるリサイクリング、上皮細胞の散乱の制御、神経細胞の再生、神経突起伸展の制御などがあります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが観察されています。この遺伝子に関連する擬似遺伝子は、12番染色体上に位置しています。[RefSeq提供、2013年1月]機能: 極性輸送、タイトジャンクションの構築および/または活性に関与する可能性があります。類似性: 低分子GTPaseスーパーファミリーに属します。Rabファミリー。細胞内局在:細胞質タイトジャンクション、またはタイトジャンクションを欠く細胞内の細胞質全体に散在する小胞に関連。組織特異性:腸、腎臓、肝臓、および内皮細胞を含むいくつかの種類の上皮で検出される。

研究分野

タイトジャンクション;

画像データ



DU145細胞溶解液のウェスタンブロット分析、RAB13ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩